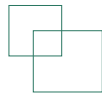


Nagano Prefectural
Shinshu
Medical
Center

初期臨床研修募集案内



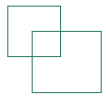
地方独立行政法人長野県立病院機構 長野県立信州医療センター



長野県立病院機構について

安心して質の高い医療サービスを提供する **5つの県立病院**と、優れた人材の組織的な育成・確保を行う本部**研修センター**、信州木曾**看護専門学校**があります





病院概要

- 開設年 ● 1948年（昭和23年）
- 開設者 ● 地方独立行政法人長野県立病院機構 理事長 久保 恵嗣
- 病院長 ● 寺田 克
- 病床数 ● 一般292床、結核24床、感染症4床（第一種2床、第二種2床）
- 診療科目 ● （標榜科）内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、感染症内科、血液内科、小児科、脳神経外科、外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、精神科、病理診断科、遺伝子検査科、救急科、脳神経内科
（専門外来）漢方・東洋医学外来、海外渡航者外来、禁煙外来、ピロリ菌外来、嚥下機能評価外来
- 医師数 ● 42人（常勤）（令和2年4月1日現在）
- 指導医数 ● 28人（常勤）（令和2年1月1日現在）
- 研修医数 ● 9人（2年次4人、1年次5人）出身大学：信州大学、日本大学、獨協医科大学、浜松医科大学、自治医科大学
- 協力型病院 ● 長野県立こども病院、長野県立こころの医療センター駒ヶ根、信州大学医学部附属病院、長野県総合リハビリテーションセンター、長野赤十字病院、長野市民病院、伊那中央病院、松本市立病院、諏訪中央病院
- 協力施設 ● 長野県立阿南病院、長野県立木曽病院、（特医）新生病院、国保依田窪病院
- その他 ● 長野県立病院機構本部研修センター



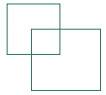
初期臨床研修プログラムについて



Point1

県立病院の特色と協力型病院の強みを生かした
自分だけのプログラムで研修

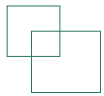




プログラムの目的と特徴

- 地域の中核病院として、総合診療部を中心とした初期診療から救急診療、終末期の経験、さらには、訪問診療を通じた在宅医療の経験など、多くの症例に接することができます。さらに、消化器、呼吸器、循環器、血液、腎臓などの専門領域の症例も多く経験することができます。
- 当院が強化を目指す感染症中核拠点病院等の病院機能を研修カリキュラムに反映していきます。
- 看護部、医療技術部門等に係る研修（他部門）を組み入れ、チーム医療に必要な相互尊重の精神、パートナーシップ精神に加え、幅広い知識・技能の習得を目指します。
- 5つの県立病院間の連携により、へき地医療や専門的かつ高度な精神医療、小児医療を学ぶことができます。また、県立病院で採用した研修医との交流ができます。





研修スケジュール例

1 年 次

救急 (4週)	内科 (24週)	選択 (16週)	外科 (4週)	小児科 (4週)
※救急部門の研修とみなす休日・夜間の日直・当直は、約45回				
一般外来 (4週)				

2 年 次

産婦 人科 (4週)	選択 (40週)	地域 医療 (4週)	精神科 (4週)
※救急部門の研修とみなす休日・夜間の日直・当直は、約45回			



ローテーションは、研修医毎に異なります。

● 必修研修について

- ① 内科研修は当院にて1年次に、消化器内科、呼吸器・感染症内科、血液内科、循環器内科をローテーションしながら24週行う。
- ② 外科、小児科、産婦人科は当院にて各4週行う。また、1年次、2年次どちらで履修してもよいこととする。
- ③ 一般外来研修は、当院にて1年次に行う。総合診療科にて週1回の午前外来を受け持ち、年間を通して40回（4週）以上行う。ただし、小児科・外科研修中は、各外来診療を一般外来研修とみなす。
- ④ 救急研修は当院にて行う。1か月のブロック研修及び、週1回程度の日直もしくは当直を受け持ち、2年間を通して45回以上行う。
- ⑤ 地域医療研修は県立阿南病院にて、精神科研修は県立こころの医療センター駒ヶ根にて、いずれも2年次に各4週行う。

● 選択研修について

- ① 1年次は当院で履修可能な科目選択することとする。
- ② 以下の中から1診療科1週を単位とし、4週から12週の期間で行う。

当院選択科目	消化器内科、呼吸器・感染症内科、循環器内科、血液内科、外科、呼吸器外科、小児科、産婦人科、救急、整形外科、麻酔科、耳鼻咽喉科、病理・臨床検査科、眼科
院外選択科目 * 2年次に履修可能	地域医療（県立阿南病院）、精神科（長野県立こころの医療センター駒ヶ根）、小児科（長野県立こども病院）、整形外科（長野県総合リハビリテーションセンター、国保依田窪病院）、救急（ER）（信州大学医学部附属病院、伊那中央病院）、緩和・終末期医療（新生病院）、循環器内科（長野赤十字病院）、脳神経外科（長野赤十字病院、長野市民病院）、皮膚科（長野赤十字病院）、外科（長野県立木曽病院、松本市立病院）、総合診療科（諏訪中央病院）、内科（長野県立木曽病院）



《 2018年度 研修医スケジュール例 》

1 年 次

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	必修 (呼吸器・感染症内科)		必修 (血液内科)		必修 (消化器内科)		必修 (救急)			循環器内 科	選択必修 (小児科)	選択必修 (外科)
B	必修 (血液内科)		必修 (消化器内科)		必修 (呼吸器・感染症内科)		選択必修 (小児科)		選択必修 (外科)	必修 (救急)		

2 年 次

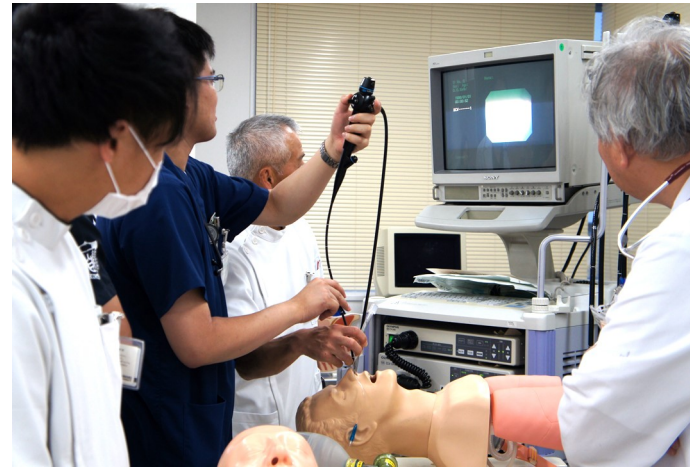
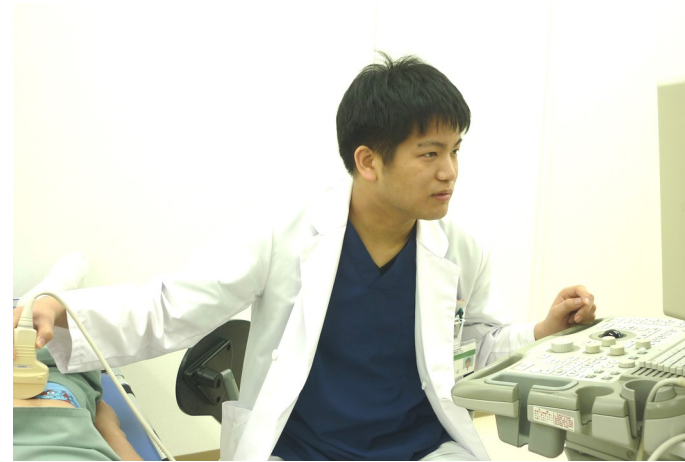
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
C	選択必修 (外科)	整形外科	循環器内 科(長野日 赤)	皮膚科 (長野日 赤)	必修(地域 医療) (阿南)	救急(ER) (信大)		整形外科 (県リハ)	産婦人科	耳鼻咽喉 科	消化器内科	
D	循環器内 科	選択必修 (外科)		必修(地域 医療) (阿南)	産婦人科	皮膚科 (長野日 赤)	循環器内 科(長野日 赤)	救急(ER) (信大)		整形外科 (県リハ)	未定 (整形外科or総診)	
E	整形外科	眼科	精神科 (ここ駒)		選択必修 (外科)		皮膚科 (長野日 赤)	必修(地域医 療) (阿南)	緩和・州末 期 (新生)	脳神経外 科(長野市 民)	産婦人科	呼吸器・感 染症内科



Point2

より高い技術を身に付ける研修





医師として高い技術を身につけるには、数多くの手技を経験しなくてはならない。
少人数の研修医だからこそできる経験が当院にはあります。
臨床経験豊富な上級医のサポートを受けながら着実に実力を身につけることができます。



Point3

科を超えてサポートする質の高い研修





患者さんの疾患は人それぞれ。そしてたいてい科を超えて複雑に絡みあっています。そのため多角的な視点で診療に携わらなければなりません。だからこそ当院では、科を超えた週1回の上級医のレクチャー、症例検討会、抄読会など、振り返り指導を多く取り入れた質の高い教育をおこなっています。



Point4

切磋琢磨する仲間との
つながりを大切にできる研修環境





少人数だからこそ仲間とのつながりを大切にしてほしい。
そんな思いから、研修医同士で語り合える環境を当院では用意しています。



Point5

シミュレーション教育プログラム

シミュレーション教育を積極的に取り入れ、確かな技術の習得と人としての成長をサポートします。



1 年 次

- 研修医 1 年目が習得すべき、基本的症例への介入を、ケースシナリオとタスクトレーナーを組み合わせる教育を行います。
- 多職種連携、チームワーク、コミュニケーション、リーダーシップなどの態度教育を一年間並行して行っています。

1年次を対象とした定期シミュレーション教育プログラム

テーマ①	テーマ②	シミュレータ	修得スキル	シミュレータ	修得スキル
オリエンテーションSim		SimMan3G、他	胸骨圧迫、マスク換気	鶏肉	縫合
アナフィラキシー	気道緊急	SimMan3G、他	エピネフリン筋注	輪状甲状靭帯穿刺	
小児診療	問診 親への説明	ロールプレイ	問診 コミュニケーション		
蘇生チームワーク	ACLSアルゴリズム	SimMan3G、他	ACLSアルゴリズム	骨髄針	骨髄針挿入
呼吸不全	人工呼吸管理	気道モデル	人工呼吸管理	人工呼吸器	
小児重症例	搬送手順	SimJr		CV穿刺	エコーガイド下CV穿刺
縫合	胸腔ドレナージ	鶏肉	縫合	胸腔ドレナージ	
Bad News	看取り		コミュニケーション		
多職種連携	コミュニケーション		SBAR		リーダーシップ



2 年 次

- ハワイ大学医学部SimTikiシミュレーションセンターへの研修参加
- ハワイ大学医学部SimTikiシミュレーションセンターは、全米屈指のシミュレーション教育施設であり、成人教育理論に基づいた教授法の研修を実施しています。



Point6

初期研修修了後の進路も安心！
しっかりサポートします



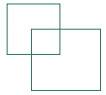
- 当院では、総合診療専門研修の基幹施設として総合医の育成をしています。
- そのほか、信州大学医学部附属病院の連携病院として、内科、外科、小児科、麻酔科、病理、臨床検査科の各領域において専門研修を行います。
- 希望の沿った進路を全力でサポートします。



 処遇

身分	有期雇用職員（1年ごとの更新）
研修手当 （2018年実績）	1年次 6,206,000円/年 2年次 6,479,000円/年
休暇	原則として、土・日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3） 年次休暇 20日/年、夏季休暇 5日
保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師損害賠償責任保険（病院加入）
宿舎	単身用、世帯用あり（一部自己負担）
日当直研修	4回程度/月
その他	学会・研修会への参加費・旅費支給あり（上限あり）、赴任手当あり、医局内専用デスクあり、PCあり、インターネット環境あり
院外研修中の処遇	当院職員として研修するため、上記条件に準じます。宿舎の手配、負担も当院でいたします。





募集要項

募集定員	7名
試験日程	1次出願締切 8月初旬 選考 8月初旬以降（個別相談）
選考方法	面接、小論文（事前提出）
出願書類	願書、成績証明書、卒業見込証明書 願書は当院HPより取得できます (https://shinshumedicalcenter.jp/resident/clinical/recruit/)



宿舎

宿舎はどの物件も病院から徒歩圏内にあります。



